

CASBEE-建築(新築)2016年版
研究棟

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									2.6
Q1 室内環境					0.40		-		2.5
1 音環境				3.0	0.15		-		3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-		
1.2 遮音				3.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能				3.0	0.60		-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-		
1.3 吸音				3.0	0.20		-		
2 温熱環境				1.7	0.35		-		1.7
2.1 室温制御				2.5	0.50		-		
1 室温				3.0	0.38		-		
2 外皮性能				1.0	0.25		-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20		-		
2.3 空調方式				1.0	0.30		-		
3 光・視環境				2.1	0.25		-		2.1
3.1 昼光利用				1.8	0.30		-		
1 昼光率				1.0	0.60		-		
2 方位別開口					-		-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40		-		
3.2 グレア対策				3.0	0.30		-		
1 昼光制御				3.0	1.00		-		
3.3 照度				3.0	0.15		-		
3.4 照明制御				1.0	0.25		-		
4 空気質環境				4.0	0.25		-		4.0
4.1 発生源対策				5.0	0.50		-		
1 化学汚染物質		シックハウス対策等級F☆☆☆☆の材料を全面的に採用した。		5.0	1.00		-		
4.2 換気				3.0	0.30		-		
1 換気量				3.0	0.33		-		
2 自然換気性能				3.0	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33		-		
4.3 運用管理				3.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				1.0	0.50		-		
2 喫煙の制御		建屋内を全面禁煙とした。		5.0	0.50		-		
Q2 サービス性能					0.30		-		3.0
1 機能性				2.7	0.40		-		2.7
1.1 機能性・使いやすさ				1.6	0.40		-		
1 広さ・収納性				1.0	0.33		-		
2 高度情報通信設備対応				1.0	0.33		-		
3 バリアフリー計画				3.0	0.33		-		
1.2 心理性・快適性				3.3	0.30		-		
1 広さ感・景観		居室の天井高さを2.7mとした。		4.0	0.33		-		
2 リフレッシュスペース		居室の近傍にリフレッシュスペースを設け、給茶機等を設置する計画とした。		5.0	0.33		-		
3 内装計画				1.0	0.33		-		
1.3 維持管理				3.5	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保		居室エリア、研究エリア、共用部それぞれにおいて維持管理しやすいよう計画した。		4.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30		-		3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.1	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		ガルバリウムなどの長寿命化を図っている。		4.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の2種類以上にC以上を計画している。		4.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				3.0	0.20		-		
1 空調・換気設備		負荷容量を下げた運転も可能となるように計画している。		4.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				2.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.4	0.30			3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30			
1	階高のゆとり	階高4.8mを確保した。	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.16を確保した。	4.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30			
3.3 設備の更新性			3.0	0.40			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)				0.30			2.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30			2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			1.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.7
LR1 エネルギー				0.40			4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		[BPI][BPIm] = 0.81	4.0	0.20			4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10			3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.63	4.7	0.50			4.7
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00			
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
集合住宅の評価							
4.1	モニタリング						
4.2	運用管理体制						
LR2 資源・マテリアル				0.30			3.7
1 水資源保護			3.4	0.20			3.4
1.1 節水		流出水量を調節することにより、節水を図っている。	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.60			3.7
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.13			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	-			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		コンクリート骨材への再生骨材採用。	5.0	0.25			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル床材、ボードの使用	4.0	0.25			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.13			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		鉄骨造により、躯体と仕上げ材が分離しやすい構造としている。	4.0	0.25			
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.20			4.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		基本的に対象物質を含まないものを選定する計画とする。	5.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0 GWP=1の断熱材を使用する計画とする。	5.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境				0.30			3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率66%	4.0	0.33			4.0
2 地域環境への配慮			3.0	0.33			3.0
2.1 大気汚染防止		燃焼機関設置なしの計画とする。	5.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制	事業所を運営する為に必要な駐車台数を確保する。	4.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			2.9	0.33			2.9
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	0.33			
2	振動		3.0	0.33			
3	悪臭		3.0	0.33			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制			-			
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			2.6	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		2.0	0.70			
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策	窓面の多い北側にはルーバーを設置する計画とする。	4.0	0.30			